

木質ペレットストーブってどんなもの？

Q1「環境にいいの？」

1. 燃やすことでCO2が出ますが、植林することで再固定され、カーボンニュートラルと言えます。
2. 再生可能な資源循環エネルギーです。
3. 地域の山から出た原料なので、運搬にかかるCO2排出量も少ないのです。

Q2「燃料は高い？安い？」

現状では、灯油よりやや高くなっています。ペレット1kg=50円の場合、灯油1㍗が108円以上になると、木質ペレットの方が安くなります。



Q3「一日どれ位のペレットが必要？」

庁舎1階のストーブは、火力「弱」で、1時間当たり約1kg強です。9-17時の8時間で約1袋（10kg）使用しています。設置機器及び暖房面積によって消費量は異なります。

Q4「メンテナンスは灯油ストーブより面倒？」

煙突掃除、分解掃除の頻度はほぼ灯油ストーブと同様です。それに加えて、燃烧ポットの掃除が1週間に1回、灰受けの掃除が1ヶ月に1回程度、数分位の作業です。

Q5「他によいところは？」

炎が見えて、身もこころもじんわり暖まります。灯油と違って匂いも木の自然な香り。灰も畑や花壇の肥料や融雪剤として利用できます。

Q6「短所は？」

現状では、ストーブ本体、ペレットともに灯油ストーブよりも費用が高くなっています。また、ペレットの保管場所が必要なこと、1日1回程度、燃料補給の手間がかかります。

(参考) 1年間にかかる燃料代は？

- ◇1世帯当たりの年間暖房エネルギー消費量
35,000MJ
=954㍗ (灯油 36.7MJ/㍗)
=2,060kg (ペレット 17MJ/kg)
- ◇H24.10の店頭価格
灯油 約90円/㍗
ペレット 約50円/kg

→ 灯油 約86,000円
ペレット 約103,000円
▲約17,000円の差です。